

# 大澤 遊

## ワークショップ

—むすぶ、たばねる演出—

北村 想 『ザ・シェルター』 を使って

2月3日(土)・4日(日)

13:30～18:30(両日とも)

ゆめアール大橋 中練習室



FFAC 創作コンペティション  
関連企画

キビるフェス 2018

キビるフェス 2018  
～福岡きびる舞台芸術祭～ 関連企画

舞台づくりには俳優・スタッフの声に耳をすまし、共に紡いでいく作業が不可欠です。

しかしながらそのアプローチや方法論はさまざまで、学ぶ機会は多くはありません。今回、英国 Derby Theatre で研鑽を積んだ演出家・大澤遊氏を招き、実践型ワークショップを行います。初演から 30 年以上経った今でも、多くの予感に満ちた『ザ・シェルター』（作：北村想）を用いて、作品を立ち上げる過程を共に探ります。

これから劇団を旗揚げたい、演出家として新たな作品に挑みたい、俳優として創作現場を変えたい、舞台づくりに関わりたい、など熱い思いがあれば経験も年齢も問いません。多くのご参加お待ちしております！

【日時】 2018 年 2 月 3 日（土）・4 日（日） 13:30～18:30 2 日間通しでご参加ください

【会場】 ゆめアール大橋 中練習室（福岡市南区大橋 1-3-25）

【講師】 大澤 遊 【使用テキスト】 北村想『ザ・シェルター』

【料金】 2 日間通し 1,000 円

キビるフェス 2018 参加作品の公演チケット提示で 500 円

【対象】 俳優・演出家・パフォーマーなど（年齢・経験不問）

【定員】 15 名程度 ※定員に達し次第締切

【締切】 1 月 31 日（水） ※定員に余裕があるときは締切日以降も受付

【申込】 fax:092-263-6259 Email: ffac-02@ffac.or.jp

QR コードのお申込みフォームより

[1] 名前 [2] 年齢 [3] 連絡先

[4] 所属劇団・団体（あれば） [5] 近年の舞台活動歴など（あれば）

[6] ひとつこと ※お申込みいただいた個人情報は本事業の実施のみに使用させていただきます。



【講師プロフィール】 大澤 遊（おおさわ ゆう）

1980 年生。日本大学芸術学部演劇学科卒。

宮田慶子、三谷幸喜、前川知大、小川絵梨子の演出作の演出助手を務める。

演劇ユニット「空っぽ人間<EMPTY PERSONS>」を主宰、全作品の構成・演出を手がける。劇団銅鑼「ボクの穴、彼の穴。」、水戸芸術館 ACM 劇場「ライフ・イン・ザ・シアター」など。平成 28 年度文化庁新進芸術家海外研修制度の研修員として、英国・Derby Theatre にて 1 年間研修。また、新国立劇場 2018/2019 シーズンから始まる「こつこつプロジェクトーディベロップメントー」では長期的に作品を育て上げていく演出家の一人として参加することが決定している。

主催：（公財）福岡市文化芸術振興財団、福岡市

お問合せ：（公財）福岡市文化芸術振興財団 092-263-6266（平日 10 時～17 時） <http://www.ffac.or.jp/>

著作権認可番号：So Kitamura 2018 No.001 岡野宏文